

メルマガ「とちぎ通信」 2016年 冬号(第15号)

日本は今、年度末を迎えあわただしいムード。日本の新年度や新学期は4月から始まりますよね。でも世界では、1月から始まる国もあれば、9月から始まる国もあるようです。さて、皆さんの国の新年度や新学期は何月からですか？

■シンガポール WAttention Plaza とちぎフェア

12月1日(火)～10日(木)の10日間、シンガポール西部のジュロンポイント・ショッピングセンターにあるWAttention Plazaで、とちぎフェアを開催しました。

栃木県を代表するいちご「とちおとめ」や梨「にっこり」、おつまみ、ラーメン、お菓子など56商品の販売に併せて、たくさんの方に来県いただけるように、日光東照宮やあしがフラワーパークなどの観光地をPRしました。



■駐日外交団とちぎ視察ツアーの開催

本県の歴史や文化、産業などを海外にPRするため、外務省と連携して駐日外交団を招いたとちぎ視察ツアーを、2月3日(水)～4日の2日間、開催しました。



▲益子焼絵付け体験の様子

14か国・1代表部の大使など22人の視察団は、益子焼の窯元や酒蔵、大谷資料館、日光東照宮、いちご摘み体験、足利市にあるワイナリーやフラワーパークなどを視察しました。



▲歓迎レセプションは「恵方呑み」で乾杯

また、3日の夜に行われた歓迎レセプションでは、節分にちなみ、恵方を向いて日本酒を飲む「恵方呑み」で乾杯しました。

■タイ・テストマーケティング

1月21日(木)～27日(水)までの7日間、タイにおいて現地消費者の嗜好やニーズを把握するため「テストマーケティング」を実施いたしました。



県内の食品関連企業・団体9社の商品35品目をバンコクの商業施設「エムクオーティエ」にて販売するとともに、来場者に商品を試食していただき、味・価格・容量・パッケージデザイン等についてアンケート調査を実施いたしました。

アンケート結果は、各出品企業にフィードバックし、今後のタイでの販売戦略を立てる上での資料として活用していただきます。

♥ 栃木県スポーツ功労賞について

昨年プロ野球セ・リーグで優勝したヤクルトスワローズの真中満監督(大田原市出身)に、1月18日、栃木県スポーツ功労賞が授けられました。この賞は、栃木県出身・在住でスポーツ分野において活躍された方に贈られる知事特別表彰です。

平成26～27年度(2月末日現在)の同賞の受賞者は、世界卓球選手権で団体銀メダルを獲得した平野早矢香選手、柔道世界選手権で3連覇した海老沼匡選手、パンパシフィック水泳選手権で2個の金メダルを獲得した萩野公介選手、冬季デフリンピック大会で2種目優勝したスキーマの原田上選手、女子ワールドカップカナダ2015で準優勝したサッカーの安藤梢選手と鮫島彩選手の7名です。



▲栃木県スポーツ功労賞を受賞した真中満監督(左)と福田富一知事

栃木県人会紹介 ハノイ栃木県人会(ベトナム)

現地名 ハノイ栃木県人会(略称:栃の木会)
設立年月日 2013年1月10日
所在地 ハノイ
会長 小松 武彦(矢板市出身)
会員数 8人(2015年12月末現在)

ハノイ栃木県人会は2013年1月に栃の木会として発足しました。

元会長の松本、現会長の小松が12月に懇親を図っていたとき、同郷の栃木人はもっとハノイにいたらうと、周囲に声をかけて集まったのが始まりです。

8名から始まった栃の木会ですが、入れ替わりもあり現在も8名と少し寂しいところもあります。ただ、集まれば県北・県央・県南と対抗戦のように地元自慢をしています。

簡単にハノイをご紹介しますと…。

ベトナムの首都で政治の中心地。一党制で共産党本部もハノイにあります。

その発展は1010年に建国された李朝の首都となったことに始まり、旧市街と呼ばれるホアンキエム湖の北には、当時の城壁や街並みが残されています。町は、青々とした街路樹が連なる通りや、レモンイエローのフランス様式の建物、静かな水面の湖など鮮やかに彩られて穏やか感じます。大学も数多くあり、ベトナムの文化、芸術の中心としても知られています。フランス統治時代に有名な画家たちが描いたベトナムの風景は高い評価も得ています。この他水上人形劇をはじめ、伝統芸能も盛んです。

ベトナムの衣装であるアオザイはベトナム人女性を更に美しく、我々を魅了します。

ハノイに来てびっくりすることはバイクの多さもあります。朝夕の通勤ラッシュ時は歩道もバイクが攻めてきます。道路を渡るのも一苦労です。



▲ハノイの渋滞

私たちの活動としては、以前は毎月実施していましたが、現在は2~3か月に一度のペースで懇親会を開催しています。



▲ハノイ栃木県人会の懇親会

ハノイはベトナムの北部に位置します。北部エリアの大きな都市としてハノイ、ハイズン、バクニン、ハイフォンなどが挙げられますが、当県人会はハノイのみで活動しています。会員の年代も30代~40代と近いので、アットホームな会となっています。

ベトナムも中国並みにバイクの排気ガスによる空気汚染や、この冬の時期はなかなか太陽もでないどんよりとした天気が続きます。ちょっとした四季もあり、夏は40℃を超え、冬は10℃を切ることもあります。なお、10℃を切ると学校など休校になります。

ここ最近では日本人も増え、日本食レストランの出店も増えています。

アジアの中では一番日本人の口に合う料理がベトナム料理だと思います。朝食は代表的なPho(フォー)やBun(ブン)が寝起きのおなかにやさしくしみていきます。

ベトナム語のこんにちははシンチャオ!(朝昼晩いつでもOK)、その他 アンコンチュア?(ご飯食べた?)などが挨拶言葉です。ベトナム人スタッフが家に遊びに来たときなど、いきなりご飯食べた?って聞いてきてなんでと思ったのですが、ベトナム流のコミュニケーションのとりかただったんです。

2月は中国同様に旧暦での正月があり、テトと呼ばれています。このテト休み中はハノイから一斉に田舎へ帰るので、閑散とした街になります。

ハノイ栃木県人会が発足した2013年はちょうど日越友好40周年で、安倍首相が就任して一番にベトナムへ来たことも話題になりました。

前会長の松本、前事務局の浜崎は現在タイに移動し、タイの栃木県人会にも参加しています。

今後はASEANの栃木県人会ともつながりを持ち、年に一度くらいASEANで集まれるようにしたいと考えています。

文責: 浜崎秀行(ハノイ栃木県人会事務局補佐)